中野香織さんと深掘りする先駆者たちのアクション

「陽の光が似合う服」の時代へ

陽光の下でリラックスするひとときが、かけがえのない瞬間だということに私たちはあらためて気づきました。そんな癒しみの時間に参考にしたいのは、英国王室のくつろぎのスタイル。ファッションスタや最新のコレクションでも昼間の装いに重きが置かれ、新しいおしゃれの楽しみ方へとシフトチェンジが始まっています。服飾史を極める中野香織さんとともに新しいリラックススタイルを検証します。

英国王室が教えてくれる アウトドアでの 優雅な"装い"

美しき邸宅にふさわしい上質なリラックススタイル

1960年、生まれたばかりのアンドルー王子を連れたバルモラル城での休暇中の一枚。エリザベス女王はカーディガンにパールネックレスを合わせ、屋外でも優雅な雰囲気。

公務を離れても きちんと身支度して

1960年のエリザベス女王と愛犬の散歩スタイル。ボウブラウスにボックスプリーツスカートというエレガントな装いで3匹を連れた散歩もお手のもの。ヘアセットも完璧です。

相手を思いやる"意味ある装い"

母親活動に熱心だったダイアナ妃。1990年、ナイジェリアで病院を訪れたときは「ベルヴィル・サスーン」の華やかな"ケアリング"ウェアで、癒やしをもたらしました。

TPOに合った カジュアルで軽快な装い

フラワーショーでのキャサリン妃のスニーカースタイル。白シャツに八分丈パンツとシンプルで軽快な装いながら、レースの素材感やワイドなパンツで華を添えています。

信頼の置けるウェアを 長く大切に愛用する

ポロ競技を観戦中のアン王女。愛用する「ムスト」のアウターは、何年も継続けるお気に入り。防寒など機能に長けた本格アイテムを、スマートに取り入れる着熟が素敵。

〝利他〟の気持ちを装いで表現したい

文＝中野香織（服飾史家）

風そよぐ陽の光の下で、家族や少数の親しい友人と過ごすくつろぎの時間は、明日への活力を満たしてくれます。夜の照明に映えるドレスの恋愛が先になりそうないま、昼間のくつろいだ雰囲気のなかに、幸福な時間を表現できるような装いを楽しみたいものです。

そんな需要を受けて、今シーズンの春夏コレクションでは、昼間のくつろいだ社交着のバリエーションが増えています。ウェルネス志向の時代だからこそ生まれ得た、新しい感覚のアイテムもお目見えしています。従来のようなTPOによる分類から夜の装いが少なくなった分、いっそ昼間の社交着も場面に応じて着分けてみませんか。

時代の要請は、新しいファッションを生み、それが社会のムーブメントを推進していくことも少なくありません。たとえば、19世紀後半のティーガウンもそうです。コルセット必須だった1870年ごろ、「息抜き」が必要という医者の助言も後押しして、コルセットなしで着用可能なホームドレスとしてティーガウンが普及しました。中がて家族や親しい人たちとのインフォーマルなディナーでも着られるようになり、1900年ごろには堂々、表舞台に出るようになります。これがコルセットなしの社交服の元祖になったわけですね。1920年代には女性がコルセットから解放される時代があっさり到来します。「息抜き」のためだったドレスは、女性がコルセットから解放されるその時のための、ウォーミングアップのドレスとしても機能していたのです。

今シーズンに広がりを見せるリラックススタイルも、未来から振り返ってみれば、次の時代への何らかの布石になっているかもしれません。どんな時代を乗りたいのか、思いを馳せな

おしゃれを妥協しない、ファッショニスタの最新リラックススタイル

Instagram @kiwimusan

快適な着心地でステップも軽やかに

デミ・ムーアはジャンプスーツの専門ブランド『リベット・ユーリティティ』の一番を着用。緑が美しい自然のなかで、軽やかにおしゃれを楽しんでいるのが伝わってきます。

Instagram @caroline.vreeland

木漏れ日が似合う極上のリラックス

モードを装いでお馴染みのカロリーヌ・ド・メグレも、屋外では優しい雰囲気。アフリカで生産されるエシカルなブランド、『レムレム』のワンピースを着て、リラックス。

Instagram @mewaw@yaqyuni

フラワープリントが映える心地よいドレスアップ

緑バッグに花を入れて緑のなかに佇むリース・ウィザースプーン。フラワープリントの『ドレイパー・ジェームス』のワンピースで、"カリフォルニアの田舎しに感謝"と投稿。

Instagram @yaqyuni@yaqyuni

自宅でのアベリティフはいつもより着飾って

洗練されたインテリアなどプライベートライフを披露してくれるグウィネス・パルトロー。自宅の庭でお酒を楽しむ時間は、発色鮮やかなワンピースと大ぶりのジュエリーで。

新しい価値観を提示した陽光が似合う、2021年春夏コレクション

COLLINE

スポーティを着こなす次世代「セリーヌ」ウーマン

銀座場を舞台に、ドキュメンタリー風の演出で発表されたコレクション。スポーティなシルエットには、"希望"をもってほしいというエディ・ヌリマンの思いが込められています。

STORY BURCH

「トリー バーチ」の原点を再クリエーション

緑の付けのないドレスは、今季を代表する一着。自身と向き合い楽しむトリー・バーチ氏は"美は実用性に宿る"を感じ、暮心地のよい真新しいスタイルを発表しました。

FIBURGERRY

「バーバリー」を代表するトレンチコートの進化

自然の循環や再生がテーマ。常にブランドの中核であるトレンチコートが、若さの象徴であるデニムジャケットのディテールと融合。ブランドDNAの進化を印象付けました。

FIGUCCI

ファッションを映画で表現した、『グッチ』の新作

季節ごとにコレクション発表する従来の方法をとらず、独自のサイクルへとシフトした『グッチ』。新作は短編映画を通じて発表。ファッションの新たな可能性を提示しています。

がら、今なら「ではの」社交を、ふさわしい装いとともに楽しみ尽くしたいものです。

さて、優雅でリラックスした装いのヒントは、各ブランドの春夏コレクションのみならず、英国王室の休日ルックからも見つけることができます。

昼間の社交の場面に応じて、装いの種類も大きく3つに分類してみました。

まずは、コンフォータブル・ラグジュアリー。カジュアル感のある数多スタイルではありますが、そのままホテルのカフェに行っても違和感のない装いです。オールインワンも軽やかに刷新されています。コスチュームジュエリーを合わせれば、インフォーマルななかにも楽しさや華やぎを演出できます。

次に、アフタヌーン・エレガンス。ティータイム、昼間のガーデンパーティへのお呼ばれにふさわしいデイドレスや大長のスカートなど、優美なスタイルです。足元もローヒールが主流になり、緑結びの革靴とサンダルのハイブリッドまで登場しています。

そしてスマート・スポーティ。ナイロンアウターなどスポーツテイストを取り入れたモード感の高い装いで、ジャージのセットアップよりも一段階、進化したスタイルです。

番外編として、ダイアナ妃からキャサリン妃に受け継がれる『ケアリング・ドレス』という考え方を紹介しておきます。病院や孤院を慰問するときに彼女たちが着た、相手の心を「ケア」するためのドレスです。会う人を明るい気持ちにするためにカラフルな柄を着たり、親しみを感じてもらうために優しい小花模様を選んだりします。装いは、自分を美しく見せるためというよりもむしろ、会う人と心を通い合わせ、相手を励ますためのもの。その心構えが、翻って紀たちの人気を押し上げていることを忘れないようにしたいものです。

どんな場面にあっても、周囲の人を思いながら装うことで、周りとの優しい関係の構築に、ひいては、次の時代への希望につながることは、間違いありません。